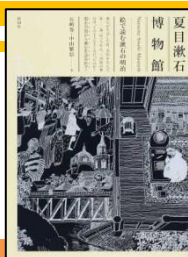




夏目漱石生誕150年

夏目漱石は1867年2月9日、現在の東京都新宿区で生まれました。本名は金之助。帝国大学(現・東京大学)文科大学英文科卒業後、英語教師を歴任。イギリスへ官費留学した後、帝国大学で英文学講師をしながら1905年に『吾輩は猫である』を発表します。作品は話題を呼び、以降『坊ちゃん』『三四郎』『それから』などの名作を次々と世に送り出し、日本近代文学の礎を築きました。そして、1916年12月9日に長年患っていた胃潰瘍の悪化によりこの世を去ります。

今年は漱石生誕150年、去年は没後100年です。作家としての活動期間はわずか10年足らずですが、その作品は現在でも多くの人に読み継がれています。長い年月を経た今でも色あせず、なお新しいとまで言われるのはなぜでしょうか。昨年から今年にかけてはメモリアルイヤーということもあり、漱石に関連する本が出版され、長崎市立図書館にも多くの書籍を所蔵しています。近代化を歩む国を憂い、胃潰瘍などの病気に苦しめられながら、「則天去私」の境地に達した漱石の考えを読み解いていく良い機会かもしれません。



『夏目漱石博物館』

絵で読む漱石の明治』

石崎 等/著
中山 繁信/著
彰国社
2階一般910.268ナ

夏目漱石が生活した町、名作を生んだ家、そして「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「三四郎」などの作品の舞台は、どのようなところだったのか？資料をもとに町や建築空間をイラスト化し、作品世界と漱石の生涯を検証する。



『愛の不等辺三角形』

漱石小説論』

吉村 英夫/著
大月書店
2階一般910.268ナ

夏目漱石の小説のほとんどは、愛の形を男女三人の関係に凝縮し、愛の本質や人の心の深奥、人間存在の意味を追究したものである。主要長編のあらましもわかるようにしながら、どのような「愛の不等辺三角形」なのかを読み解く。

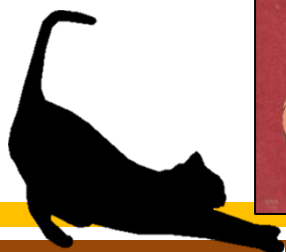


『三四郎』

夏目 漱石/作
岩波書店
S913.6 ナツ

大学入学のために九州から上京した三四郎は、東京の新しい空気の中で世界と人生について経験を重ねながら成長してゆく。一見何の変哲もない教養小説と見えるが、一筋縄では行かぬ小説的企みがたっぷり仕掛けられた一冊。

新刊ピックアップ



『I Love Youの訳し方』

望月 竜馬/著
ジュリエット・スミス/絵
雷鳥社
2階一般902モ

「I Love You」の一文を、あなたならどう表現しますか？ときに情熱的に、ときに感傷的に、ときに個性的に…。100人の作家による100通りの愛の表現を、小説や詩、手紙から選んで紹介しています。

行事報告

「新春おたのしみセット」

長崎市立図書館では、新年の開館初日から「新春おたのしみセット」の貸出を行いました。「長崎の町を歩こう♪」や「タコは好きですか？」など、多彩なテーマにそって集めた本3冊とおみくじが入った本の福袋です。

どのような本が入っているかは「おたのしみ」ということで、タイトルや表紙がわからないように包装していましたが、3日間ですべてのセットが貸出されるほどの人気でした。普段自分では選ばないような本との出会いに、驚きや面白味を感じていただけたのではないのでしょうか。

図書館は、これからも本と人をつなぐさまざまな機会をつくっていけるよう努めてまいります。



「ヒントの本棚」



昨年の夏、長崎市立図書館の2階に「“知る” “発見する” “考える” きっかけになる本棚」をコンセプトにした“ヒントの本棚”が誕生しました。日常に散らばっている多種多様なキーワードの中からテーマを選び、本を収集・展示しています。

これまで、働くことやジェンダーマイノリティに焦点をあててきた“ヒントの本棚”。第3弾となる今回のテーマは、「本、好きですか?」。さまざまな角度から、本について書かれている本を展示しています。本が好きだったり苦手だったり。本との関係性は人それぞれです。

棚を眺めながらゆっくりと、「本と自分」について、思いめぐらせてみませんか。

場所：2階レファレンスカウンター横壁面
期間：2月27日(月)まで

寄贈紹介



「商工中金長崎支店」

株式会社商工組合中央金庫(通称 商工中金)様は、全国の支店で地域に根ざした活動を行っていらっしゃいます。平成28年に創立80周年を迎えるにあたり、長崎支店では記念事業の一つとして、長崎の企業を支援することを目的として、起業・中小企業・金融に関するものを中心に、ビジネス関係の図書を79冊(20万円相当)寄贈されました。

図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時 NHK総合「イブニング長崎」のコーナーで放送中!



『川原慶賀の「日本」画帳

シーボルトの絵師が描く歳時記』 下妻 みどり/編 弦書房

シーボルトのお抱え絵師・川原慶賀の絵と江戸時代の国学者・野口文龍の「長崎歳時記」、そしてオランダ商館長メイランの文章をあわせて、当時の長崎の様子を絵と文で紹介。巻末には「長崎歳時記」の現代語訳も掲載。

ブック・リレー

「ひかり」

ひかりの長さを元に作られた、「二十四節気」と呼ばれる暦があります。『ひかりの暦』は細やかで色彩豊かに描かれた立春や清明などの絵とともに、著者が自身の体験や思い出を綴ったエッセイ本です。国内外を旅した著者は、四季があるからこそ、日本人には季節を意識した時間の流れがあるのではないかと語っています。日本だけでは感じなかった時間の捉え方の違いに、ハッとさせられるかもしれません。

そして写真集『yes』では、蛍光灯やイルミネーションなど沢山の人工的な光に溢れた現代に、自然の光の力強さを感じることができます。青々と茂る木々にあたる日光、暗い海底を照らす日差し、夜空一面に輝く星の光など、色々な「ひかり」が私たちの生きる世界を照らしているのです。また、写真集の中に広がる雄大な自然に添えられた温かみのある詩が私たちの心を癒してくれます。

どちらも、電気がなかった時代から現代まで、さまざまな「ひかり」が私たちの傍にあることを気づかせてくれる本です。

(司書 平田 香菜)



『ひかりの暦』

石井 ゆかり/文
松尾 たいこ/絵
小学館
F914.6 イシ



『yes』

高砂 淳二/写真
覚 和歌子/詩
小学館
2階一般748タ

次回のテーマは
「芽ぶき」



今月のイベント・展示

イベント

2日	木	あかちゃんおはなし会
4日	土	定期上映会「ゴースト ニューヨークの幻」(昼)
5日	日	大きい子向けおはなし会
9日	木	小さい子向けおはなし会
10日	金	定期上映会「恋愛小説家」(夜)
15日	水	定期上映会「ゴースト ニューヨークの幻」(夜)
18日	土	第2回 図書館でがんを学ぼう!話そう!
19日	日	大きい子向けおはなし会
20日	月	定期上映会「恋愛小説家」(昼)
23日	木	小さい子向けおはなし会
		第11回 図書館 de ギャラリー(~2/26)
3月2日	木	あかちゃんおはなし会
5日	日	大きい子向けおはなし会

第11回
図書館 de ギャラリー
2/26(日)
ワークショップ
「折り紙で作る小物入れ」
場所: 多目的ホール
時間: 13時30分
〜
15時00分

※イベントの詳細は、館内のポスター・ちらし、またはホームページで確認できます。

展示 1階

- 1階特集 ころとからだをあたたかく
- 1階ミニ 2016年原作小説
- 児童特集 すきすき♥おやさい
- 児童ミニ 鬼のおはなし(~2/4)
おおきくなあれ!(2/5~)
〜入園・入学・はじめてのちょうせんについての
ほんをあつめました〜
- YA特集 扉をひらこう ~新しいコトにチャレンジ~
- YA投稿 先輩から一言!

2階

- 2階特集 ランタンフェスティバル(~2/13)
日本に魅せられたシーボルト(2/15~)
- 長崎県美術館連動展示
デンマーク・デザイン(~2/12)
夢の美術館(2/23~)
〜めぐりあう名画たち〜
- ヒントの本棚
本、好きですか?



長崎市(長与町・時津町)外へ 転出される方へのお願い

- ★図書貸出券が使えなくなりますので、市立図書館
もしくは最寄りの公民館図書室等へお返しく下さい。
- ★借りている本は転出前(返却期限内)にご返却ください。

